エコしよう！eco－do（エコドゥ）　2016.8.20 号

「リサイクルしよう！」こんなもの集めています。

当社では、社会貢献活動の一環として、下記のものを集めています。

１）　古切手・・・NGO に寄付します。（切手収集家に販売されます。）

２）　エプソン、キャノンカートリッジ・・・メーカーに送り、ベルマークになります。

３）　各社ベルマーク・・・２）とともに小学校へ寄贈します。

４）　テプラカートリッジ・・・メーカーでリサイクルされます。

５）　リコー製トナー・・・メーカーでリサイクルされます。

該当のものがありましたら、当社スタッフへお渡しください！

「Ｅｃｏ列車でいこう！」～第 86 回　けなげにがんばるローカル私鉄～

（ＣＯ２排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！）

８月１１日（祝）。「新潟」を５：17 に出発。「新津」で羽越本線の一番列車に乗り換える。２両連結のディーゼルカー、酒田行だ。

阿賀野川の長い鉄橋を渡り、「京ヶ瀬」「水原」を通り「新発田」着。車内は部活に向かう学生や帰省客で混雑、立ち客も多い。こちらは始発駅から乗ったので、進行方向左側（日本海側）ボックス席窓側という最良席を確保している。「村上」を過ぎると笹川流れの絶景が広がる。海辺でキャンプをしているのだろう、カラフルなテントが多い。

新潟県最後の駅で旧山北町の中心集落「府屋」を通過すると山形県に入って「鼠ヶ関」に停車する。「白河」「勿来（なこそ）」と並ぶ奥州三大関所の一つだ。

「酒田」に着いたのが９：３１。３分乗り換えで秋田行に乗車した。左前方に大きな山が見える。秋田富士とも言われる鳥海山だ。「象潟（きさかた）」「仁賀保（にかほ）」など途中下車してみたくなる趣のある駅を通過して、１０：３８「羽後本荘」に到着。

ここから本日の目的である「由利高原鉄道」に乗車する。昭和の時代には全国にローカル私鉄が無数に走っていたが、現在その数は激減している。そんな中、けなげにがんばっているのがこの鉄道だ。１０：４６発は「まごころ列車」である。「まごころ列車」は１日１往復だけ運転され、「秋田おばこ」の恰好をした女性アテンダントが乗務している。乗客は小学生３人組と鉄道ファン３人の計６人のみというのどかさだ。

「おばこ」の観光案内を聞きながら、単行ディーゼルカーはのんびり走る。途中、「前郷」ではタブレット交換が行われた。かつて多くの路線で行われたタブレット交換も、現在は全国で４か所のみとなっているとのことだ。乗車記念の「しおり」をもらい、車内販売でタオルを購入したりしていると、終点「矢島」に到着した。

近くの魚屋でアユの塩焼きを購入して、駅で冷酒を買った。「酒類の支払は窓口でお願いします。」と書いてある。日本酒の代金を切符売り場で払うとは珍しい。

帰りの車内にもテーブルが付いているから飲食には好都合だ。空いている車内でアユの塩焼き肴にしながら、地酒を飲む。車窓には田園風景と鳥海山の堂々とした山容。贅沢な「山の日」である。

「羽後本荘」から再び「酒田」に戻り、庄内平野の真ん中にある「余目（あまるめ）」の温泉で一浴してから、「快速きらきらうえつ」で帰途に着いた。